

# 男子ホッケーU21日本代表チーム 日露親善試合(ロシア・エカテリンブルク)

日付	2017年7月8日 15:30～ :		
場所	ロシア・エカテリンブルク	天候	晴
試合	第2戦	通算結果	日本 0勝2敗

		<b>RESULT</b>			
Country	0	-	0	Country	
<b>日本</b>	<b>1</b>	<b>(</b>	<b>)</b>	<b>ディナモ</b>	<b>2</b>
<b>JAPAN</b>				<b>Dinamo</b>	
				0	

Minute	Shrit No.	Name	GREEN	YELLOW	RED
✓	1	野井辰真			
30	2	高野雄介			
✓	3	稲山巧			
5	5	和田吉広			
✓	6	井関渉二			
✓	7	竹林浩斗			
✓	8	米田一輝			
5	9	小澤航太			
✓	10	池田瑞			
8	11	渡部楽夢			
✓	12	森下雄太			
✓	13	高橋洋介			
✓	14	山口滉太			
5	15	小川恭平			
✓	16	加藤凌聖			
5	17	永吉拳			
✓	18	為國龍次			
Coach		長屋恭一			
Manager		三澤孝康			
UMPIRE					

Minute	Shrit No.	Name	GREEN	YELLOW	RED
Coach					
Manager					
UMPIRE					

Team	Minute	Name	Action	Score
日本	17	小川恭平		1対0

Team	Minute	Name	Action	Score
ディナモ	22		PC	1対1
ディナモ	52		PC	1対2

日露親善試合第2戦は日本のセンターパスにより開始される。1Q、先制点がほしい日本は7分と15分PCを獲得し、稲山(No.3)、和田(No.5)がフリックシュートを打つもGKのファインセーブにより、先制点を挙げる事ができない。そのまま1Qが終了する。2Qに入り、運動量を活かし、前線にボールを運ぶ日本は17分左サイドのセンターリングによるシュートチャンスの小川(No.15)が冷静にタッチシュートで決め、日本が先制点を挙げる。その後も攻め続ける日本は20分再びPCを獲得するも自分達のミスによりチャンスをものにすることができない。反撃に出たい相手は22分PCを獲得すると、フリックシュートをGK左上に決め、同点ゴールを許してしまう。その後、2点目を狙う日本は早いリスタートを武器に攻め続け、何度も決定的なシーンを演出するが、得点に結びつけることができない。3Qに入り、先に点数を取りたい両チームはお互いサークル進入まではできるが、決定的なチャンスまでは至らない。そのまま、3Qが終了となる。4Qに入り、日本は決定的な場面を迎える。相手のラインが高くなった隙を狙い、カウンター攻撃を仕掛け、GKと1対1チャンスを作るがシュートは枠を外れてしまう。その後、日本は52分、右サイドからドリブル突破を許し、PCを与える。このPCを強烈なフリックシュートできちんと決め、1対2と逆転される展開となる。その後、何とか同点ゴールを奪いたい日本だが、堅い相手DF陣を崩すことができず、そのまま1対2で試合が終了し、1対2で敗戦となった。今日の試合は第1戦に比べ、選手個人の動き、チーム力は上がっているが、チャンスをものにしなければならない場面でものにできず、相手に少ないチャンスで得点を許すという展開の試合結果となった。最終日の第3戦は7月9日12:00～(日本時間16:00～)の予定にて開始される。

日本	9	シュート数	2	ディナモ
	6	PC数	2	

次戦(第3戦) 7月9日 12:00 ~ 日本対ディナモ  
 校閲: 男子U21ヘッドコーチ 長屋 恭一  
 記責: 男子U21コーチ 朱 光珍